



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日
東

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社 上場取引所
コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有坂 昌規
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 (氏名) 横井 宏紀 TEL 03-3750-6793
財務部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	41,978	5.9	4,060	34.6	5,013	30.6	3,802	30.6
2024年3月期第3四半期	39,628	15.8	3,016	269.5	3,838	246.8	2,911	558.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,871百万円(△40.7%) 2024年3月期第3四半期 6,525百万円(35.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	279.82	—
2024年3月期第3四半期	213.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	63,716	44,225	65.2	3,072.84
2024年3月期	62,169	42,633	64.7	2,953.54

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 41,528百万円 2024年3月期 40,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	50.00	70.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	68.00	98.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	4.7	4,740	31.0	5,640	21.8	4,100	36.2	302.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年11月20日の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	13,900,065株	2024年3月期	13,900,065株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	385,545株	2024年3月期	290,464株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	13,590,556株	2024年3月期3Q	13,609,656株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明資料は、2025年2月7日（金）に当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(持分法適用の範囲の変更)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の政権交代による政策変化、中国経済の低迷、長期化する海外の紛争など依然として先行きが不透明な状況が続いております。また日本経済においては、米国の政策動向や海外景気の下振れリスクが今後の我が国の経済に与える影響に十分注意していく必要があります。

このような状況下、当社においては、今年度よりスタートさせた中期経営計画『EXPLORER PLUS』のもと、安定成長と収益性の向上に取り組んでおります。主要顧客である自動車メーカー向け製品につきましては、様々なコスト上昇要因に対する採算の確保に取り組むとともに、EV化・顧客のESG志向の進行を見据えた新製品の投入を推進しております。非自動車分野につきましては、需要増が見込まれる航空機分野の拡大や、新商材であるヒカリアクション・自己修復性素材の事業化といった長期テーマにも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、南北アメリカセグメントが好調だったことなどにより売上高は前年同期比5.9%増の41,978百万円、営業利益は前年同期比34.6%増の4,060百万円、経常利益は前年同期比30.6%増の5,013百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比30.6%増の3,802百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①セグメント別売上高

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		15,057	38.0	14,750	35.1	△307	△2.0
海外	南北アメリカ	15,360	38.8	17,140	40.8	1,779	11.6
	中国	4,264	10.7	4,730	11.3	465	10.9
	東南アジア/インド	4,945	12.5	5,357	12.8	412	8.3
	海外合計	24,570	62.0	27,227	64.9	2,657	10.8
日本+海外合計		39,628	100.0	41,978	100.0	2,349	5.9

②セグメント別営業利益

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		745	22.1	769	17.3	24	3.2
海外	南北アメリカ	2,024	60.2	2,756	61.8	731	36.1
	中国	106	3.2	359	8.1	253	238.6
	東南アジア/インド	489	14.5	570	12.8	80	16.4
	海外合計	2,620	77.9	3,686	82.7	1,065	40.7
日本+海外合計 (調整額除く)		3,366	100.0	4,456	100.0	1,089	32.4

③セグメント別概況

(日本)

主要顧客である自動車メーカーの生産の回復が遅れていることなどにより減収となりましたが、価格改定や原価低減に努めた結果、増益に転じました。

(南北アメリカ)

北米、メキシコでの販売が堅調に推移したことなどにより増収となり、さらに原材料費が抑えられたことや、為替換算の影響もあって、大幅な増益となりました。

(中国)

主要顧客である日系自動車メーカーの生産台数減の影響は続いていますが、昨年上期の底を脱してからは回復傾向にあり、固定費削減も進んだことから、増収・増益となりました。

(東南アジア/インド)

一部の地域において自動車販売の低迷による影響は続いていますが、新規拡販や輸出の増加、原価低減の効果もあって、増収・増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、63,716百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,546百万円増加しました。主な要因は、「関係会社株式」が1,802百万円減少したものの、「現金及び預金」が1,010百万円、流動資産の「その他」が1,000百万円、「受取手形及び売掛金」が845百万円増加したことによります。

負債は、19,490百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」が861百万円増加したものの、「長期借入金」が640百万円、「繰延税金負債」が207百万円減少したことによります。

純資産は、44,225百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,592百万円増加しました。主な要因は、「自己株式」を205百万円取得したものの、「利益剰余金」が1,737百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年11月8日公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,338	13,349
受取手形及び売掛金	10,020	10,866
商品及び製品	2,549	2,795
原材料及び貯蔵品	4,530	4,952
その他	732	1,733
貸倒引当金	△21	△24
流動資産合計	30,150	33,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,871	3,744
機械装置及び運搬具（純額）	1,432	1,489
工具、器具及び備品（純額）	289	338
土地	5,141	5,137
リース資産（純額）	36	49
建設仮勘定	129	120
有形固定資産合計	10,900	10,879
無形固定資産		
のれん	1,843	1,673
顧客関連資産	1,995	1,905
技術資産	593	550
商標権	520	483
その他	938	1,077
無形固定資産合計	5,892	5,690
投資その他の資産		
投資有価証券	5,683	5,813
関係会社株式	7,522	5,720
保険積立金	715	678
長期預金	2	2
退職給付に係る資産	480	422
繰延税金資産	88	77
その他	747	771
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	15,226	13,472
固定資産合計	32,019	30,043
資産合計	62,169	63,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,190	6,052
短期借入金	4,894	4,928
リース債務	95	105
未払金	1,093	1,098
未払法人税等	317	452
賞与引当金	445	335
役員賞与引当金	—	6
その他	1,846	1,615
流動負債合計	13,883	14,595
固定負債		
長期借入金	1,478	838
リース債務	128	247
繰延税金負債	2,546	2,338
役員退職慰労引当金	109	117
退職給付に係る負債	1,192	1,155
長期預り保証金	185	186
資産除去債務	11	11
固定負債合計	5,652	4,895
負債合計	19,535	19,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	27,433	29,171
自己株式	△384	△589
株主資本合計	35,230	36,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,677	2,651
為替換算調整勘定	2,357	2,174
退職給付に係る調整累計額	△68	△61
その他の包括利益累計額合計	4,966	4,765
非支配株主持分	2,437	2,697
純資産合計	42,633	44,225
負債純資産合計	62,169	63,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	39,628	41,978
売上原価	28,434	28,828
売上総利益	11,193	13,149
販売費及び一般管理費	8,177	9,089
営業利益	3,016	4,060
営業外収益		
受取利息	69	148
受取配当金	123	150
為替差益	54	39
持分法による投資利益	571	597
その他	81	112
営業外収益合計	900	1,048
営業外費用		
支払利息	34	45
その他	44	49
営業外費用合計	78	95
経常利益	3,838	5,013
特別利益		
関係会社株式売却益	24	133
特別利益合計	24	133
特別損失		
固定資産廃棄損	—	51
特別損失合計	—	51
税金等調整前四半期純利益	3,862	5,095
法人税等	869	1,091
四半期純利益	2,993	4,004
非支配株主に帰属する四半期純利益	82	201
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,911	3,802

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,993	4,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	586	△25
為替換算調整勘定	2,561	117
退職給付に係る調整額	52	7
持分法適用会社に対する持分相当額	331	△231
その他の包括利益合計	3,531	△133
四半期包括利益	6,525	3,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,252	3,601
非支配株主に係る四半期包括利益	272	269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、当社の持分法適用関連会社であった株式会社汎宇について、当社が保有する株式を一部売却したことにより、第1四半期連結会計期間末をもって持分法適用の範囲から除外しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	762百万円	837百万円
のれんの償却額	176百万円	191百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	13,728	15,360	4,264	4,945	38,298	—	38,298
ビルメンテナンス 関連事業	1,329	—	—	—	1,329	—	1,329
顧客との契約から 生じる収益	15,057	15,360	4,264	4,945	39,628	—	39,628
外部顧客への売上高	15,057	15,360	4,264	4,945	39,628	—	39,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,002	4	—	79	1,086	△1,086	—
計	16,060	15,365	4,264	5,024	40,714	△1,086	39,628
セグメント利益	745	2,024	106	489	3,366	△349	3,016

(注) 1 各報告セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益の調整額△349百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が11百万円、クオリケムInc. 買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△360百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	13,179	17,140	4,730	5,357	40,407	—	40,407
ビルメンテナンス 関連事業	1,570	—	—	—	1,570	—	1,570
顧客との契約から 生じる収益	14,750	17,140	4,730	5,357	41,978	—	41,978
外部顧客への売上高	14,750	17,140	4,730	5,357	41,978	—	41,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,174	3	—	34	1,211	△1,211	—
計	15,924	17,143	4,730	5,391	43,189	△1,211	41,978
セグメント利益	769	2,756	359	570	4,456	△395	4,060

(注) 1 各報告セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

- 2 セグメント利益の調整額△395百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△4百万円、クオリケムInc.買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△391百万円であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。